

契約当事者市町別の相談件数

令和元年度（平成31年4月～令和元年6月）

市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比	市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比
津市	114	141	-27	80.9%	朝日町	5	7	-2	71.4%
四日市市	55	56	-1	98.2%	川越町	8	7	1	114.3%
伊勢市	23	41	-18	56.1%	多気町	6	13	-7	46.2%
松阪市	48	54	-6	88.9%	明和町	14	15	-1	93.3%
桑名市	32	59	-27	54.2%	大台町	2	4	-2	50.0%
鈴鹿市	43	47	-4	91.5%	玉城町	5	6	-1	83.3%
名張市	20	28	-8	71.4%	度会町	1	2	-1	50.0%
尾鷲市	6	6	0	100.0%	大紀町	1	4	-3	25.0%
亀山市	17	12	5	141.7%	南伊勢町	4	8	-4	50.0%
鳥羽市	4	5	-1	80.0%	紀北町	14	5	9	280.0%
熊野市	5	7	-2	71.4%	御浜町	4	1	3	400.0%
いなべ市	13	16	-3	81.3%	紀宝町	5	7	-2	71.4%
志摩市	13	17	-4	76.5%					
伊賀市	26	21	5	123.8%	県内不明	10	2	8	500.0%
木曾岬町	10	4	6	250.0%	県外・不明	18	6	12	300.0%
東員町	12	16	-4	75.0%					
菰野町	13	21	-8	61.9%	合計	551	638	-87	86.4%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。